

議会改革度調査2023都道府県部門 茨城県議会は3年連続で第1位に輝きました

令和3年3月に設置された茨城県議会改革推進会議の第一次答申を踏まえ、議会改革を進めている茨城県議会は、令和6年3月に発表された早稲田大学マニフェスト研究所が実施する「議会改革度調査2023」において、47都道府県議会の中で、3年連続で第1位となりました（市区町村を含めた全議会においても第4位です。）。

県民の皆さまの視点に立ち、議会改革を積極的に進めてきたことが評価されたものであり、今回の結果を糧とし、今後とも、より一層県民の皆さまから県議회를身近に感じていただけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

茨城県議会の議会改革の主な取り組み

情報共有 議会が持っている情報を住民と共有するための取り組み

- ・県議会ホームページにおいて、常任委員会などの資料を事前に公表
- ・常任委員会の出前委員会を開催し、学生との意見交換を実施 など

住民参画 議会が多様な民意を形成し、集めるための取り組み

- ・3年連続で休日議会を開催し、常任委員会において県民との意見交換を実施
- ・子育て世代の傍聴などを促進するため、県庁内保育所を活用した託児サービスを導入
- ・県議会モニターからの意見聴取を実施し、議会活動や議会広報の取り組みに反映 など

機能強化 政策の質の向上や地域課題の解決のための取り組み

- ・議会に対して年次報告義務がなかった19の議員提案政策条例について、委員会提案により報告義務付けの改正
 - ・「誰もが輝く持続可能な茨城を担う人づくり調査特別委員会」において、常磐大学の学生から政策提言が発表され、委員会の調査結果報告書における提言として反映
 - ・茨城キリスト教大学と包括連携協定を新たに締結 など
- （ほかに、茨城大学、常磐大学・常磐短期大学および流通経済大学とも締結）



流通経済大学における出前委員会の様子(令和5年11月16日(木))



休日議会における常任委員会の様子(令和5年6月17日(土))



調査特別委員会における学生発表の様子(令和5年9月20日(水))

議員提案により「茨城県食と農を守るための条例」が制定されました

第1回定例会において、「茨城県食と農を守るための条例」が議員から提案されたことを受け、営業戦略農林水産委員会は、議案審議に関連する防災環境産業、保健福祉医療および文教警察の各委員会と連合審査会を開催しました。

審議の過程では、①茨城農業の将来ビジョンと条例の関係およびその違い、②条例の内容を細則などで具体的に規定する必要性への見解、③食料安定供給のための種子の安定的な確保に係る条例の考え方と該当条文、④女性の農業経営参画に関する本県の状況と他県との比較、⑤農福連携の推進と該当条文、⑥小規模・零細農家への支援や大規模農家と小規模農家を組み合わせ「稼げる」「儲かる」農業の推進、⑦地産地消の浸透を促進するための県民の役割および「茨城をたべよう」との関係、⑧条例制定により期待される食料安全保障および本県農政の方向性に関する変化などについて、活発な議論が交わされました。

連合審査会での審議を踏まえ、営業戦略農林水産委員会は、条例案について原案のとおり可決すべきものと決し、閉会日の本会議において、条例案が全会一致で可決・成立しました（令和6年3月29日から施行）。

この条例では、近年の国際情勢の変化や、気候変動による災害の頻発化・激甚化などの状況に鑑み、食料安全保障の達成が重要な課題となっているとの認識の下、主食となる米や麦の重要性を踏まえつつ、平時からの農業を強靱化するとともに、農村を振興することにより、食料を安定的に供給するための基本的な施策などを定めています。これにより、本県農業・農村の持続的な発展と、県民の豊かな食生活の実現を目指します。

条例に定める主な内容は、次のとおりです。

《農業関係》

海外に依存している生産資材の国内資源への代替など本県農業の構造転換をはじめ、環境との調和に配慮した持続可能な農



条例の提案説明を行う長谷川重幸議員

業の推進、農地の適正かつ有効な利用や農業用排水施設などの生産基盤の総合的な整備、水田農業への支援の強化、多様な担い手の確保・育成などについて規定しています。

《農村関係》

農村や中山間地域などの総合的な振興や、鳥獣による被害の防除について規定しています。

《県民意識の醸成》

消費者が食料生産の価値を評価し、農業を支える重要性などについての意識の醸成や、食育を通じた県民と農業者との相互理解の促進などについて規定しています。

本県の議員提案政策条例は、この条例で25件目になります。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。

※条例の全文は議会ホームページでご覧になれます。
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/img/shokutonou.pdf>



議会人事

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

委員長	村上 典男	委員	石塚 隼人
副委員長	星田 弘司	委員	小松崎 敏紀
委員	葉梨 衛	委員	秋元 勇人
委員	飯塚 秋男	委員	山本 美和
委員	川口 政弥	委員	高安 博明
委員	飯田 智男	委員	櫻井 信幸
委員	黒部 博英	委員	玉造 順一
委員	水柿 一俊	委員	江尻 加那
委員	長谷川 重幸	委員	うの のぶこ
委員	金子 晃久	委員	長田 麻美
委員	坂本 隆司	委員	館 静馬

4月18日付で白田信夫議員が、議会運営委員会委員を辞任されたことに伴い、同日付で飯塚秋男議員が同委員会の委員に選任されました。